

国際ロータリー第2580地区

TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary



RI会長 ゲイリーC. K. ホアン



Enjoy all of the Rotary

クラブ会長 小野 勇二

 ◆例会日◆ 毎週火曜日 12:30~13:30
 ◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)


本日の卓話

(紹介者 猪野君)

「青少年奉仕としての
『中学生の職場体験』受入れ」
地区青少年奉仕委員会副委員長
東京本郷RCチャーターメンバー
松下和正氏

次回の卓話

(紹介者 プログラム委員会)

「昔のイニシエーションスピーチ」
メンバー 傳谷恭雄君
「イニシエーションスピーチ」
メンバー 小内賢一君

《8月26日例会報告》

点鐘

ロータリーソング「我等の生業」

来賓紹介

◎ゲスト 9名

鈴木孝雄氏(ゲストスピーカー・RI第2580地区ガバナー)

吉田秀得氏(RI第2580地区幹事)

伊藤三千男氏(東分区ガバナー補佐)

青木一男氏(東分区幹事)

古谷勝彦氏(東分区副幹事)

楊意心さん(米山奨学生)

福田圭介氏(愛国学園IAC顧問教師)

宮崎成美さん(愛国学園IAC副会長)

吉田里央さん(愛国学園IAC)

◎ビジター 0名

以上9名

出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
37名	32名	100%	100%

会長報告

○当地区1992-93年度ガバナー・那覇西RC会員、松島寛容様が8月12日に逝去されました。享年94才。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○米山奨学生・楊意心さんに8月分奨学金お渡し。
楊さんより歓迎会の御礼。



○東京リバーサイドRCより、第51回インターラクト年次大会参加登録のお礼状を頂戴いたしました。
拝啓

厳しい残暑が続いておりますが、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、8月3日(日)に行われました第51回インターラクト年次大会には、大勢の皆様にご参加頂きました誠に有難うございました。

お陰様を持ちまして、鈴木ガバナー、地区役員・委員の方々をはじめとする大勢のロータリー関係者ご出席のもと、無事終了することができました。また、次年度のスポンサー那覇東ロータリークラブ、ホスト興南高等学校に無事引き継ぐことが出来ました。

これも一重にご参加いただきました皆様のご協力の賜物と心より深く感謝申し上げます。

この経験をもとにより一層の努力と、活発な活動を展開して行きたいと思います。これからも、

 会長 ◆ 小野 勇二
 副会長 ◆ 萩原 正俊
 幹事 ◆ 岡村 利之

 会報・雑誌委員会
 事務局

 ◆ 森本 弘・城戸 国雄・田中保夫・鹿倉 勇
 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室
 TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774
<http://e-edogawa-rc.com>

インターラーク活動にご理解ご協力をいただければ幸いと存じます。

敬具

幹事報告

○8月28日(木)PM1:00～ガバナー事務所地下議室にて、地区米山奨学委員会開催。嶋村地区米山奨学副委員長出席。

○9月1日(月)PM3:00～東武ホテルレバント東京4階「錦」にて、地区職業奉仕セミナー開催。茂手木職業奉仕委員長、城戸会員、鹿倉会員、唐澤会員、鈴木(富)地区職業奉仕委員長、中村地区職業奉仕委員出席。

○ロータリー文庫運営委員会より「資料目録—総括ダイジェスト版—1998～2013」が発刊され、一冊贈呈いただきました。受付にございますのでご覧ください。

委員会報告

<社会奉仕委員会>

・「東北地区被災地視察旅行」のご案内。

<米山奨学委員会>

・米山梅吉記念館改修の件。

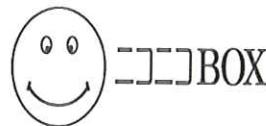
<インターラーク委員会>

・インターラークターよりご挨拶。



《卓話》

8月26日の卓話は、R I 第2580地区ガバナー・東京池袋RC、鈴木孝雄氏の「ガバナー講評」でした。



本日入金… ¥ 60,000
今期累計… ¥ 163,500
基金合計… ¥ 8,570,626

鈴木氏(ゲストスピーカー・R I 第2580地区ガバナー)

吉田氏(R I 第2580地区幹事)

…本日は貴クラブの皆様と親しく語り合える事を楽しみに参りました。あたたかくお迎え下さいまして有難う御座います。

伊藤氏(東分区ガバナー補佐)

青木氏(東分区幹事)

古谷氏(東分区副幹事)

…今日は鈴木ガバナーと同行訪問です。長時間になりますが、宜しくお願ひいたします。

ニコニコ情報

①ガバナー公式訪問「ガバナー講評」

R I 第2580地区ガバナー 鈴木孝雄様

ご指導よろしくお願ひします。

三浦君、傳谷君、石橋君、小佐田君、茂手木君、村山君、塚田君、阿部君、須賀君、森本君、猪野君、平田君、嶋村君、中村君、田中君、一樹君、城戸君、仲川君…①

鈴木(富)君…いつも鈴木孝雄ガバナー、吉田地区幹事には大変お世話になっておりますが、本日ガバナー講評楽しみにしております。

岡村君…8月20日、中野サンプラザにコンサートを観に行って、憧れだった“あべ静江”さんと初めて握手してきました。感動!!心は10代に…。

計25名

モンゴルを訪問して

メンバー・地区米山奨学委員会副委員長

嶋村文男

7月18日(金)から21日(月・祝)モンゴル・ウランバートルを訪問してきました。参加メンバーは公益財団法人ロータリー米山記念奨学会・板橋敏雄理事長、岩邊俊久事務局長、前年度地区米山奨学委員会メンバー2人と私の5人です。

成田から約5時間のフライトで夜7時過ぎにモンゴルチンギスハーン国際空港に降り立った私たちを、モンゴル米山学友会のメンバー9名が大きな笑顔で迎えてくれました。こんなに歓迎されるとはと驚き、涙が溢れる程感激しました。

空港を出ると夜8時だというのにまだ明るく、緯度の高さ(北海道・稚内と同じ)を痛感しました。



学友の車に分乗し、約 50 分程でホテルに着き学友 7 名と軽い夕食をとり初日は早めに休む事にしました。

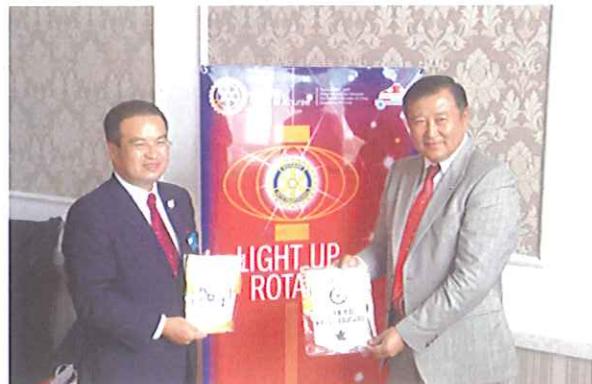
2 日目は今回の訪問をセットしていただいた、モンゴル米山学友会初代会長であるジャンチブ・ガルバドラッハ氏が 2000 年に創立した日本式高校「新モンゴル高校」を訪問しました。アラン校長と面談した後今年の 6 月に高校を卒業した 19 名の生徒さんとの対話交流会に参加しました。



新モンゴル高校では今まで卒業生 1300 名うち約 400 名が留学し、その中でも日本への留学が 260 名と圧倒的に多いとの事。日本とは“歴史問題”がないという事もあり国民全体が大変な“親日”だという事です。生徒さんたちは目を輝かせて私たちの話を聞き自らの夢と希望をしっかりととした日本語で話し、最後には日本の歌を歌ってくださいました。この 19 人のほとんどが日本への留学を望んでいるとの事。必ずや米山奨学生となって日本で充実した学生生活を送ってほしいと願わざにはいられませんでした。

昼からはモンゴルのロータリークラブとの交流昼食会です。モンゴルで一番古いうランバートル R C 始めジャンチブさんが所属しているフレー R C 他 2 クラブのメンバーが集まってくれました。クラブの社会奉仕活動では障がい者支援や植林等様々な活動をしているとの事でした。モンゴルで

は女性の社会進出が目覚ましく、女性のロータリアンが多い様です。



そして驚いたのは 13 のロータリークラブと 9 つのローターアクトクラブのメンバー数が 300 人と同数だという事です。総人口 300 万人のうち 35 歳以下が 60% を占めるというモンゴルは“若い国”であると再認識することになりました。

夕方からは車で約 1 時間かけてテレルジ国立公園へ行き大草原の“ゲル”で一泊しました。食事はホルホグというモンゴル伝統料理(羊肉の煮込み)と 39 度のウォッカをいただき夜遅くまで語り合いました。



翌朝はパンの朝食後、大草原を散歩しました。流石に肌寒かったですですが、どこまでも続く大草原にゲルが点在し、牛や羊、馬や水牛が放牧されている風景はとても美しく圧倒的なものでした。そんな中乗馬体験をする事が出来ました。



10時過ぎにはゲルを出発し雄大な景色を車窓から眺めながら首都ウランバートルに戻り、楽しみにしていたモンゴル米山学友会の皆さんのが開いてくれた昼食会に参加しました。

モンゴル学友会のメンバーの方のお店を貸し切りにしたパーティ形式でしたが、初めて会う学友の全員がニコニコとして日本語で話しかけてくれました。彼らは、世話をクラブのロータリアンに会った時を思い起こすかの様に熱心に話しをしてくれました。



特にボルコさんとの出会いは印象的なものでした。学友全員が日本への感謝の気持ちと自らの仕事や夢を語り合う中、彼女は現在ローターアクターとしても活動し、そのツェツェー・グン・ローターアクトクラブが自らお金を集め、恵まれない学生に奨学金として渡し、大学進学を支援しているとの事でした。この話を聞き僕も少しだけ寄附をさせていただきました。日本のローターアクターにも大きな刺激になる話だと思います。

その後市内観光とモンゴル伝統音楽・伝統舞踊を旧ソ連邦時代の歴史を感じさせるホールで観賞させていただきました。

一度ホテルに戻った後、今回の主役ともいえるジャンチブ・ガルバドラッハさんの自宅に招かれ夕食をいただきました。彼と彼の三女さんが作っていただいたモンゴル家庭料理はどれも美味しい時間を過ごす事が出来ました。

翌朝はホテルを6時に出発し、7時前に空港に着きました。そこには別れを惜しむかの様に10名を超えるモンゴル学友会のメンバーが見送りに集まってくれていました。

最後に小さなコーヒーショップでコーヒーを飲みながら再会を約束し、僕たちはモンゴルをあとにしました。

あつという間の4日間でしたが、とても充実し

た心豊かな時間を過ごす事が出来ました。それもジャンチブさんをはじめモンゴル学友会の皆様の心からのおもてなしのお陰です。

ロータリー米山奨学事業は国際親善と世界平和を求めるとても崇高な国際奉仕プログラムです。そのことを強く感じた事は言うまでもありません。

今回のモンゴル訪問ではモンゴル米山学友会の皆さんとの交流の中でロータリーの大先輩と同行させていただき、モンゴルの若者との出会いの中で多くの事を学ぶ事が出来た旅でした。感謝。

『我が青春時代の思い出』



私の40年前はこんな顔をしていました。この頃は歌手になろうか、俳優になろうか、夢をめぐらしながら楽しく生活していましたが、度胸も能力もなく平凡なサラリーマン生活を送っていました。

しかし、いつかは自分で事業を起こすことだけは信念を持ち、22年前に独立し現在に至っておりますが、これも皆様のおかげでございます。

今後ともよろしくお願ひいたします。

写真の方はどなたでしょうか？答えは次週です。

8月26日週報掲載の方は…塙田俊夫会員でした。

(会報・雑誌委員会)

* 9月 お祝いコーナー *

メンバ誕生日祝い 奥様誕生日祝い

岩倉君(4日) 鈴木(富)君(10日)

小野君(28日) 三浦君(15日)

結婚記念日祝い 森本君(21日)

鈴木(富)君(3日)

多田君(17日)

出席100%祝い

22年…塙田君 21年…阿部君

19年…須賀君 5年…一樹君